

※この様式1は黒色のペンを使用し、手書きの日本語で記入して下さい。(鉛筆は不可)
※本人以外の代筆は認めません。

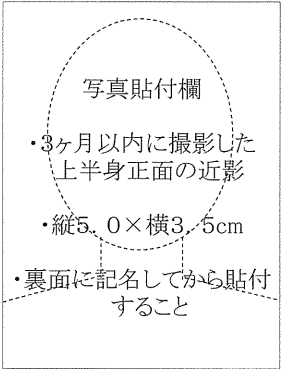
様式1

第45回(2019年度)
岩谷国際留学生奨学助成
申 込 書

2018 年 12 月 日

公益財団法人 岩谷直治記念財団 御中

「第45回(2019年度)岩谷国際留学生奨学助成募集要項」に従い、
奨学金を受けたく申し込みます。
申込書および添付書類等の記載内容は、事実と相違ありません。



氏 名 (母国語表記)	氏 名 (漢字表記)		
氏 名 (英字表記)	氏 名 (カタカナ表記)	性別	男 ・ 女
国・地域名	生年月日	年	月 日 歳
携帯電話	E-mail	配偶者 有 ・ 無	

現 住 所	〒	住所	線	駅 (駅から自宅まで、バス / 徒歩 で	分)
-------	---	----	---	----------------------	----

◎現在の大学院(または大学)に入学した年 → 年 月

◎現在(2018年12月時点)、在籍している大学院・研究科・専攻 ↓2018年12月時点の年次に○印

大学	院	専攻	M 修士課程 (博士前期)	1年	2年		
大学	科	専攻	D 博士課程 (博士後期)	1年	2年	3年	年

(現在、大学4年生の人は、こちら↓に記入して下さい。)

◎来春(2019年4月時点)、在籍する予定の大学院・研究科・専攻 ↓2019年4月時点の年次に○印

大学	院	専攻	M 修士課程 (博士前期)	1年	2年		
大学	科	専攻	D 博士課程 (博士後期)	1年	2年	3年	年

大学住所	〒	住所	電話
------	---	----	----

指導教官	役職	氏名	研究室名	内線
------	----	----	------	----

現在(2018年12月時点で)受給している奨学金について (受給していない場合は、「無し」と記入して下さい。)

奨学団体名	受給期間	年	月	～	年	月
-------	------	---	---	---	---	---

他の奨学金への申し込みについて (予定も記入。他の団体に応募していない場合は、「無し」と記入して下さい。)

奨学団体名

日本語による会話能力の自己評価について (あなたの日本語会話レベルに○印を付けて下さい。)

poor ←----- 日常会話可 -----> excellent
1 2 3 4 5

※この様式2はパソコン入力も可能ですが、書式は変更しないで下さい。

様式2

経 歴 書

2018 年 月 日 現在

氏 名

来日した年 年 月

(日本に来てからの通算年数 年 ヶ月)

1. 学 歴 (高校から現在までの学歴を記入)

学校区分	学校名・所在地(国・都市名) (例) ○○○○高校 (例) 中国 大連市		入学・卒業年月		専攻科目	取得学位 又は資格
高校	学校名		入学	年 月		
	所在地		卒業	年 月		
高等専門 学校	学校名		入学	年 月		
	所在地		卒業	年 月		
日本語学校	学校名		入学	年 月		
	所在地		卒業	年 月		
大学	学校名		入学	年 月		
	所在地		卒業	年 月		
大学院 修士課程 (博士前期)	学校名		入学	年 月		
	所在地		修了	年 月		
大学院 博士課程 (博士後期)	学校名		入学	年 月		
	所在地		修了	年 月		

備考: 補足説明等があれば、記入して下さい。

2. 職 歴 (学業と並行したアルバイトの職歴は記入不要)

	勤務先・所在地(国・都市名) (例) ○○○○株式会社 (例) 日本 大阪市		勤務期間	勤務内容	役職名
1	勤務先		年 月		
	所在地		～年 月		
2	勤務先		年 月		
	所在地		～年 月		

備考: 補足説明等があれば、記入して下さい。

※この様式3はパソコン入力も可能ですが、書式は変更しないで下さい。

様式3

身 上 書

2018 年 月 日 現在

氏 名

母国住所(帰省先)

1. 経済状況

最近1年間の収入額と支出額を平均し、1ヶ月相当分を記入して下さい。

1) 1ヶ月の平均収入額

(↓○印または記入して下さい)

① 家族からの仕送り	円/月 → 仕送りしてくれる人は誰ですか？ 父親 / 母親 /
② 奨学金(本人)	円/月 → 奨学金の名称を記入して下さい
③ 給与(アルバイト)	円/月 → どんなアルバイトですか？ RA / TA /
④ 自分の預貯金を使用	円/月
⑤ その他	円/月 → どんな収入ですか？ 配偶者給与 / 配偶者奨学金 / その他↓
収入額合計 (a)	円/月

2) 1ヶ月の平均支出額

(↓○印または記入して下さい)

① 家賃	円/月 → 住んでいるところは? 学生寮 / アパート /
② 学費(自分が払う金額)	円/月 → 免除されていますか? 全額免除 / 一部免除 / 免除なし
	免除期間: 年 月 ~ 年 月
③ 食費	円/月
④ その他生活費	円/月 → 電気・ガス・水道・携帯・交通費・図書費などの合計金額を記入
支出額合計 (b)	円/月

3) 収支差額 (a-b)

円/月

2. 家族状況

(両親・兄弟姉妹を記入して下さい。既婚者は配偶者・子女も記入して下さい。)

続柄	家族の氏名	年齢	現住所 (国・都市名)	職業名(学生は学校名)

3. 特記事項

(収入の減少予定、支出の増加予定、宗教上の制約等、伝えておきたいことがあれば記入して下さい。)

※この様式4はパソコン入力も可能です。

様式4

※各項目の行数、フォント等は必要に応じて変更できますが、枚数は **A4サイズ縦で2枚以内** とします。

研 究 計 画 書

2018 年 月 日 現在

氏 名 _____

1. あなたの研究課題について、簡潔に説明して下さい。

2. 今後1～2年間の研究計画と、目標とする研究成果について説明して下さい。

(1年目)

(2年目)

3. あなたが発表した論文を全て記載して下さい。(査読付き(refereed)の場合はその旨を記入)

4. 学位を取得した後は、どのような進路を予定していますか？(修士の場合、進学の場合は？)

5. あなたは今後、母国と日本との交流に、どのように関わっていきたいと考えていますか？

6. その他(意見、感想など)

推薦教官各位：1. 推薦教官ご自身でご記入いただき、捺印・厳封の上、「親展」にて応募者経由でご提出下さい。

様式5

2. 全ての質問項目を満たしていれば、書式を変更しても結構です。他言語の場合は和訳を添付して下さい。

推薦状

作成日 年 月 日

応募者の所属： 応募者の氏名：

私は上記の学生を貴財団の奨学助成対象者として以下の通り推薦いたします。

1. 研究能力について
2. 研究への取り組み姿勢について
3. 学位取得・修了の見込み及び将来性について

4. 人物像について

5. 日本語の語学力について

(当財団での使用言語は日本語です。日本語能力試験を受験している場合は、レベルを明記して下さい。)

6. その他、特記事項

推薦教官のご所属(大学・高専名/研究科名/学科名)

お役職

お名前

印

連絡先住所

電話番号

(内線)

E-mail

※応募者本人の進学等の事情により入学先での指導期間が短い場合は、従前の指導教官による推薦を認めます。

※推薦教官に連絡を取らせていただく場合がございます。連絡先のご記入漏れが無いようお願いいたします。